

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	2	週時数	4
教科	英語	グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を通じて、言語や文化に対する興味をもたせる。</li> <li>・外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、4技能の中の特に読むこと、書くことの能力の基礎を培う。</li> </ul>				
担当教員	三澤 有紗				
年間授業時数	140				
使用教科書	東京書籍『NEW HORIZON English Course2』				
副教材等	NEW HORIZON 2 基礎の確認（東京書籍）、中2英語をひとつひとつわかりやすく（学研教育出版）、自作教材（プリント等）、Welcome to Tokyo				

学 習 計 画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫 配慮事項
前期	4	Unit0 Unit1	1 1	<p>過去形・過去進行形の形、意味、用法を理解し、自分が経験したことを伝える技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去形/過去進行形</li> <li>・There is[are]…</li> </ul> <p>休暇や週末の予定について、質問したり伝えたりすることができる。</p> <p>予定や意思、予測を伝える技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・be going to / 助動詞 will</li> <li>・show 人もの、call A B の語順</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書をするときは英文と訳文を視覚的に理解しやすいように、上下に提示する。</li> <li>また、主語、動詞などの品詞を分かりやすいように色分けして提示する。</li> <li>・新出文法や本文を示すときには、状況を理解しやすいように、写真やイラストまたは動画などを示す。</li> <li>・電子黒板、デジタル教科書、PC、DVD（字幕&lt;日本語・英語&gt;）やホワイトボード等を活用した授業を行う。</li> <li>・学習内容の定着を図るため、授業内での練習問題、小テストを適宜行う。</li> <li>・教科書の単語の意味調べを毎時間の予習とし、ワーク基礎の確認を使用した宿題を与える。</li> <li>・週末課題では副教材を使用し、家庭学習を定着させる。副教材はすべて年度内に終了させる。</li> <li>・生徒を認め、ほめることにより、学習への動機づけや意欲を育てる。</li> <li>・英語検定試験4級に合格できる力を育てる。</li> </ul>
	5	Grammar for Communication1 Unit2	1 4	<p>様々な接続詞の形、意味、用法を理解し、時や条件、理由など理解し伝えたりする技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞 when / if / that / because</li> </ul>	
	6	Grammar for Communication2 Unit3 Let's write1	1 3	<p>不定詞の形、意味、用法を理解し、ある行動についての目的や感情の原因、大切だと思えることを伝えたりする技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞（副詞的用法、名詞的用法、形容詞的用法）</li> </ul>	
	7	Grammar for Communication3 Stage Activity1 Let's read1	1 2	<p>Unit3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を伝えあって整理し、未来の自分へのメッセージを書く技能を身に付ける。</li> <li>・文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉える。</li> </ul>	
	9	Unit4 Grammar for Communication4	1 2	<p>様々な助動詞の形、意味、用法を理解し、する必要があることや、しなければならないこと、事実や気持ちを伝えあう技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・have to / 助動詞 must / 動名詞</li> </ul> <p>助動詞を用いて、できることやしなければならないことを伝える技能を身に付ける。</p>	
後期	10	Unit5  Unit6	1 4	<p>使い方ややり方、確信や喜びの気持ちなどを伝えあう技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞+to / 主語+be動詞+形容詞+that</li> </ul> <p>複数のを比べて伝えあう技能を身に付ける。</p> <p>比べる英文を読んでその内容を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較表現</li> </ul>	
	11	Grammar for Communication5 Stage Activity2	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unit6までの学習事項を用いた文の形、意味、用法を理解している。</li> </ul>	
	12	Unit7 Grammar for Communication6	1 3	<p>受け身の形、意味、用法を理解し、世界遺産などについて事実などを整理し、理解したり伝えあったりする技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身</li> </ul>	
	1	Let's read2	1 2	<p>場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る技能を身に付ける。</p>	
	2	Let's read3	1 4	<p>文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝えあったりするためにある人物の障害について書かれた文章の概要を捉える。</p>	
	3	まとめ	1 0	<p>中学2年生で習得すべき単語、熟語、文法を理解し、総合的に活用することができる。</p>	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	2	週時数	4
教科	国語	グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語を尊重する態度を育てる。</li> <li>・演習問題等に取り組み、理解を深める。</li> </ul>				
担当教員	神田 雅史				
年間授業時数	140				
使用教科書	「伝え合う言葉 中学国語2」教育出版、「中学書写」教育出版				
副教材等	「国語便覧」浜島書店、「楽しく学ぼう！すらすら基本文法」浜島書店、「新基礎の学習 国語2年」新学社、「学習漢字ノート2」浜島書店、「サマーアプローチ国語2年」教育同人社、「中学基礎がため100%中2国語[読解編]」くもん出版、国語辞典、電子黒板、自主作成プリント等				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	一、自己/他者/物語詩「虹の足」 質問する力をつける 小説「タオル」	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・象徴表現等の技法を理解し、文学作品を味わう。</li> <li>・作者の感動、登場人物の思いを読み取り、考える。</li> <li>・情報へのよりよいアプローチ方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板やホワイトボード等を活用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。</li> <li>・考えたこと、思ったことを文章で表現する機会を多く設定する。</li> <li>・ICT機器(iPad・学習アプリ)の効果的な活用を図る。</li> </ul>
	5	二、自然/環境/科学説明「日本の花火の楽しみ」 「水の山富士山」	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。</li> <li>・観点を明確にして読み比べる。</li> </ul>	
	6	三、身体/生命/家族「夢を跳ぶ」 「SNSから自由になるために」 作文	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を捉え、課題意識をもつ。</li> <li>・資料の中から適切な情報を選び、考えをまとめる。</li> <li>・自分の課題を見つけ、構成を明確にして書く。</li> </ul>	
	7	説得力のある提案をする 四、近代化/国際社会/共生 「持続可能な未来を創るために」	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な構成を考えて話す。</li> <li>・持続可能な社会の実現に向けて必要なことを考える。</li> </ul>	
	9	説明「紙の建築」 根拠をもとに意見文を書く	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張と行動を読み取り、考えを深める。</li> <li>・推論をもとに根拠を探し、理由付けを示した意見文を書く。</li> </ul>	
	4 ～ 9	文法「動詞」 書写「硬筆」「毛筆」	(6) (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動詞の働きや種類等について理解する。</li> <li>・字形を整えて書く。手紙等、生活に生かせる知識を身に付ける。行書に慣れる。</li> </ul>	
後期	10	五、伝統/文化/歴史 古文「平家物語」 古文「枕草子・徒然草」 漢文「孔子の言葉」 読書「坊ちゃん」	10 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典作品の特徴を捉え、その世界に親しむ。</li> <li>・登場人物の言動や心情を読み取り、考えを交流する。</li> <li>・古人のものの見方や考え方に触れ、考える。</li> <li>・古典作品の表現に注目しながら、思考を読み取る。</li> <li>・近代の小説に関心をもち、読み味わう。</li> </ul>	
	12	六、人権/多様性/平和 短歌「短歌の味わい」 小説「夏の葬列」	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景や心情を思い描きながら、文学作品を味わう。</li> <li>・表現技法に着目して鑑賞し、表現にも生かす。</li> <li>・場面と時間に着目し、小説の理解を深める。</li> </ul>	
	1	七、近代化/国際社会/共生 評論「ガイアの知性」	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現に着目し、事例や筆者の主張を読み取る。</li> <li>・自然や知性について、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	
	2	八、表現/対話/思想 評論「学ぶ力」 よりよい結論を導く 討論をする	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。</li> <li>・自分の知識や経験と関連付け、考えを深める。</li> <li>・相手の立場や考えを尊重しながら話し合う。</li> </ul>	
	3	九、自己/他者/物語詩「豚」 小説「走れメロス」 「連作ショートショート」 を書く	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・類比・対比の手法に注目しながら、詩のイメージを広げる。</li> <li>・語り手の位置の変化を捉え、小説の臨場感を味わう。</li> <li>・作者や登場人物のものの見方を捉え、考えを深める。</li> <li>・物語の構成や展開、表現の工夫や効果を考える。</li> </ul>	
	10 ～ 3	文法「形容詞」「形容動詞」「敬語」 書写「硬筆」「毛筆」	(6) (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞・形容動詞、敬語の働きについて理解する。</li> <li>・行書と仮名を調和させて書く。行書に慣れ、生活や作品づくりに生かす。</li> </ul>	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	2	週時数	3
教科	数学	グループ名	S		
ねらい	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。 (2) 基本的な平面図形の性質について、観察や操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。 (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。 (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。				
担当教員	対馬 健太 (S1・S2G1)				
年間授業時数	105				
使用教科書	教育出版「中学数学2」				
副教材等	正進社 数学の学習ノート2 教出版 日本教育出版 毎日の計算トレーニング2				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	式の計算	9	○単項式と多項式 ○多項式の計算 ○単項式の乗法と除法 ○式の値	1・情報機器を活用する。(電子黒板・デジタル教科書・PCなど) 2・重要事項は、ホワイトボードに短冊、模造紙を貼り、構成された板書にする。 3・日常生活の例を挙げ、興味・関心を高めるように支援する。 4・家庭学習が定着するために、毎回宿題を出す。 5・学習の定着を図るため、練習問題や小テストを多く取り入れる。 6・授業後に学習内容が自ら確認できるようなノート作りを行う。
	5	式の活用	7	○式による説明 ○等式の変形 ○基本の問題 ○章の問題	
	6	連立方程式	10	○連立方程式とその解 ○連立方程式の解き方 ○いろいろな連立方程式 ○基本の問題	
		連立方程式の利用	7	○連立方程式の活用 ○基本の問題 ○章の問題	
	7	1次関数	12	○1次関数 ○1次関数の値の変化 ○1次関数のグラフ ○1次関数の式の求め方 ○基本の問題	
9	1次関数と方程式	5	○2元1次方程式のグラフ ○連立方程式とグラフ ○基本の問題		
後期	10	1次関数の利用	6	○1次関数の活用 ○章の問題	
		平行線と角	7	○直線と角 ○多角形の内角と外角 ○基本の問題	
	合同な図形	8	○合同な図形 ○三角形の合同条件 ○証明とそのしくみ ○作図と証明 ○基本の問題		
	11	三角形	8	○二等辺三角形の性質 ○二等辺三角形になるための条件 ○正三角形 ○直角三角形の合同 ○基本の問題	
	12	平行四辺形	12	○平行四辺形とその性質 ○平行四辺形になるための条件 ○特別な平行四辺形 ○平行線と面積 ○三角形と四角形の活用 ○章の問題	
		確率	10	○確率の求め方 ○いろいろな確率 ○基本の問題 ○章の問題	
	1	データの分析	4	○四分位数と四分位範囲 ○箱ひげ図 ○データの活用 ○基本の問題	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	2	週時数	4
教科	理科	グループ名	S		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学変化を観察し、分解、化合などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、化学反応を原子・分子モデルで考える。</li> <li>・身近な動物について観察・実験し、動物の体のつくりと働きについて理解するとともに、動物の種類や生活について認識を深める。</li> <li>・電流回路についての実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解する。</li> <li>・身近な気象について、気象要素と天気変化の関係について理解する。</li> </ul>				
担当教員	菊池 則久				
年間授業時数	140				
使用教科書	「理科の世界2」 大日本図書				
副教材等	「大日本図書版 教科書トレーニング中学2年」文理 「グラフィック理科資料集」新学社				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	単元1 化学変化と原子・分子	36	①物質の成り立ち 加熱や電気によって物質を分解し、その生成物からもとの物質の成分が特定できることを調べようとする。また物質は原子や分子という小さな粒子からできていること、原子を記号で表せることに興味を示す。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電子黒板・デジタル教科書・タブレット PC などの情報機器を活用する。</li> <li>2. 授業後に復習できるようなノート作りを行う。</li> <li>3. 学習の定着を図るため、練習問題や小テストを行う。</li> <li>4. 答えの根拠まで考え、自分なりに答えられるようにしていく。</li> <li>5. 自然現象について、科学的に考え、説明できるようにしていく。</li> <li>6. 電子黒板とホワイトボードを併用し、視覚的に分かりやすい授業を行う。</li> </ol>
	5			②いろいろな化学変化 化合、酸化、燃焼などの化学変化について学び、化学変化は化学反応式で表してみようとする。また物質は原子や分子という小さな粒子からできていること、原子を記号で表せることを理解する。	
	6			③化学変化と物質の質量 化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、反応の前後で物質の総和が等しいことや反応の間には一定の関係があることを見いだす。	
				④化学変化と熱の出入り 化学変化には熱を発生する変化や熱を吸収する変化があることを調べようとする。	
後期	7	単元2 生物の体のつくりとはたらき	38	①生物をつくる細胞 生物の組織などの観察を通して、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞の特徴相違を調べようとする。	
	9			②植物の体のつくりとはたらき 植物の根・茎・葉の観察と、光合成・呼吸・蒸散に関する実験を通して植物の体の働きを理解する。また葉緑体の働きを理解する。	
	10			③動物の体のつくりとはたらき 消化や呼吸について観察・実験を行い、動物の体が必要な物質をとり入れて運搬している仕組みを理解する。また不要な物の排出の仕組みを理解する。動物が外界の刺激に適切に反応するようすの観察や実験を通し、そのしくみを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連づけて考えようとする。	
				①電流と回路 簡単な直列回路や並列回路の電流や電圧、抵抗に関する規則性について実験を通して見だし、回路の基本的な性質を理解する。さらに電流から熱や光などの量に違いがあることを、日常生活や社会と関連づけて考えようとする。	
	11	単元3 電流とその利用	35	②電流と磁界 磁界と磁力線の関係や電流と磁界の関係を、観察・実験を通して調べようとする。さらに電流が磁界との相互作用で力を受ける現象や電磁誘導の現象などについて調べようとする。また直流と交流の違いがあることを知る。	
12	③電流の正体 静電気の性質について理解できるようにする。さらに真空放電の観察などから電流の正体が電子の流れであることに興味を示す。				
	1	単元4 気象のしくみと天気の変化	31	①気象観測 気象の観測のしかたを理解する。	
2	②気圧と風 大気圧の実験を行い、空気の重さと関連付けて理解する。圧力の実験を行い、力の大きさと面積の関係を見出す。高気圧や低気圧のつくりと気象観測のデータなどから、等圧線と地上付近の風の向きや強さについて理解する。				
3	③天気の変化 霧や雲のでき方について観察・実験し、その結果と気圧、気温及び湿度の変化とを関連づけて考えようとする。前線の通過に伴う天気の変化を暖気・寒気と関連付けて理解する。				
				④日本の気象 地球の大気の循環や季節風、日本付近の気団について興味を示す。日本の四季の天気の特徴について日常生活と関連付けて理解しようするとともに日本の四季の天気の特徴について興味を示す。	

令和4年度東京都立中央ろう学校 中学部年間指導計画

学 部	中学部	学 年	2	週時数	3
教科	社会科	グループ名	S		
ねらい	<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事象に対する関心を高め、日本の歴史の大きな流れを理解し、様々な視点から各時代の特色を考察し、理解する。</li> </ul> <p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、様々な視点から世界の地域的特色を考察し、理解する。また、現代の社会の現状と課題への理解を深める。</li> </ul> <p>【通年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な資料を活用することで、資料を読み取る力と考察力を高める。</li> <li>・調べ学習を通して、様々な資料を適切に選択、活用する力を高め、適切に表現する能力を育てる。</li> </ul>				
担当教員	大竹 勇人				
年間授業時数	105				
使用教科書	<p>【歴史】東京書籍 『新しい社会 歴史』</p> <p>【地理】帝国書院 『社会科 中学生の地理』 / 帝国書院 『中学校社会科地図』</p>				
副教材等	<p>【歴史】正進社『歴史の資料』、新興出版社『教科書トレーニング』、文英堂『スーパー歴史年表』</p> <p>【地理】正進社『地理の資料』、新興出版社『教科書トレーニング』</p>				

学 習 計 画

	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容、ねらい(評価の観点)	指導の工夫 配慮事項
前期	4	【歴史】 古代までの日本	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂関政治の時代</li> <li>・武士の政権の成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板・ホワイトボード等を活用し、視覚的に分かる授業を展開する。</li> <li>・地図帳や資料集を適切に活用することで、生徒が自ら調べようとする態度の育成を目指す。</li> <li>・授業では発問等を工夫し、生徒が考え話し合う授業を展開する。また、家庭学習で復習する習慣を身に付けるために宿題や週末課題を適切に出す。</li> </ul>
	5	中世の日本			
	6	近世の日本	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人との出会いと全国統一</li> <li>・江戸幕府の成立と対外政策</li> </ul>	
	7	近世の日本 開国と近代日本の歩み	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の発達と幕府政治の動き</li> <li>・欧米の進出と日本の開国</li> </ul>	
	9	開国と近代日本の歩み	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治維新</li> <li>・日清、日露戦争と近代産業</li> </ul>	
後期	10	【地理】 日本のさまざまな地域	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の姿</li> <li>・世界と比べた日本の地域的特色</li> </ul>	
	11	日本のさまざまな地域	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口の特色</li> <li>・資源や産業の特色</li> <li>・地域間の結びつきの特色</li> </ul>	
	12	日本の諸地域	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方</li> <li>・中国・四国地方</li> </ul>	
	1	日本の諸地域	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地方</li> <li>・中部地方</li> </ul>	
	2	日本の諸地域	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方</li> <li>・東北地方</li> </ul>	
	3	日本の諸地域	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道地方</li> <li>・身近な地域の調査</li> </ul>	